

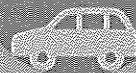
報道発表資料の配付日時 10月13日(火) 10時00分

発表項目 (行事名)	「北海道自動運転シンポジウム」の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>1 日時：令和2年(2020年)11月6日(金) 13:30～17:00</p> <p>2 場所：札幌プリンスホテル国際館パミール(3階) (札幌市中央区南3条西12丁目)</p> <p>3 内容 最新の自動運転技術の開発などの諸情勢や取組状況を共有するとともに、「自動運転技術開発の加速」や「社会活用の仕組み」について議論する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 経済産業省製造産業局自動車課ITS・自動走行推進室長 植木 健司氏 ・パネルディスカッション コーディネーター 北海道大学 教授 萩原 亨氏 <p>パネリスト 経済産業省製造産業局自動車課ITS・自動走行推進室長 植木 健司氏 岩見沢市企画財政部情報政策担当次長 黄瀬 信之氏 BOLDLY株式会社 長橋 愛氏 国土交通省北海道開発局建設部道路計画課長 遠藤 達哉氏 (一社)北海道商工会議所連合会政策企画部長 福井 邦幸氏</p> <p>【定員】150名 入場無料(事前申し込みが必要) ※この他、ライブ配信視聴によるリモート参加も可能</p>		
参考			
報道(取材) に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	建設部建設政策局建設政策課(担当者:主幹 上村 明弘) TEL ダイヤルイン 011-204-5539 内線 29-654		

北海道自動運転シンポジウム

道内の諸課題解決に向けた 自動運転技術の活用

入場無料
定員150名



日時 2020.11.6(金) 13:30~17:00(開場 12:30)

来場してのご参加か、リモートでのご参加(ライブ配信視聴)をお選びいただけます。

会場 札幌プリンスホテル国際館パミール 3階

〒060-8615 札幌市中央区南3条西12丁目

【アクセス】地下鉄東西線「西11丁目駅」下車、2番出口より徒歩約3分

リモート参加

当日視聴申込用 URL : https://zoom.us/webinar/register/WN_KjSrOhfYR7qnL6sVFheVCg
(シンポジウム開始前までに、上記URLにアクセスのうえ、お名前のご登録をお願いいたします。)

基調講演

経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室長 植木 健司氏

パネルディスカッション

コーディネーター 北海道大学 教授 萩原 亨氏

経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室長 植木 健司氏

岩見沢市 企画財政部 情報政策推進担当次長 黄瀬 信之氏

パネリスト

BOLDLY株式会社 長橋 愛氏

国土交通省 北海道開発局 建設部 道路計画課長 遠藤 達哉氏

(一社)北海道商工会議所連合会 政策企画部長 福井 邦幸氏

主催

北海道、(一財)北海道建設技術センター

共催

(一社)北海道開発技術センター

(一財)北海道道路管理技術センター

後援

国土交通省北海道開発局、

国土交通省北海道運輸局、

経済産業省北海道経済産業局、

特定非営利活動法人国際協力研究センター

プログラム

13:30-13:40 開会挨拶

13:40-14:40 基調講演

14:40-14:50 休憩

14:50-16:50 パネルディスカッション

16:50-17:00 閉会挨拶

お申し込みはこちら

受付サイト : <https://jform.net/hokkaido-seminar/>

※来場参加は定員になり次第
受付を終了させていただきます

来場してのご参加か、リモートでのご参加(ライブ配信視聴)をお選びいただけます。

申込
期限

10.29



【申込方法についてのお問い合わせ】

株式会社コンパニオンプリンケージ

TEL : 011-272-2151

【シンポジウムについてのお問い合わせ】

北海道建設部建設政策局建設政策課

TEL : 011-231-4111(内線 : 29-654)

EMAIL : kensei.kensetsu@pref.hokkaido.lg.jp

講演者・コーディネーター・パネリスト プロフィール

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によって、講師の参加方法が変更となる場合があります（リモート参加・代役など）

基調講演／パネリスト

植木 健司氏

経済産業省 製造産業局 自動車課
ITS・自動走行推進室長

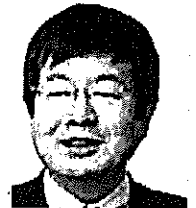


平成 11年 東京工業大学大学院理工学研究科生産機械工学専攻修士課程修了
平成 19年 経済協力開発機構日本政府代表部一等書記官（科学技術担当官）（出向）
平成 22年 産業技術環境局産業総合技術研究所室長補佐
平成 23年 産業技術環境局研究開発課総括補佐
平成 25年 中小企業庁経営支援部経営支援課総括補佐
平成 26年 中部経済産業局総務企画部総務課長
平成 28年 産業技術環境局研究開発企画官
平成 29年 特定複合観光施設区域整備推進本部事務局企画官（出向）
平成 31年 製造産業局自動車課ITS・自動走行推進室長

コーディネーター

萩原 亨氏

北海道大学大学院・工学研究院・土木工学部門・
先端モビリティ工学研究室教授

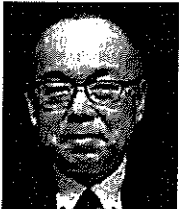


昭和 59年 北海道大学大学院工学研究科土木工学専攻 修了
昭和 59年 北海道大学工学部土木工学科助手
平成 5年 北海道大学工学部土木工学科助教授
平成 22年 北海道大学大学院工学研究科教授

パネリスト

黄瀬 信之氏

岩見沢市企画財政部
情報政策推進担当次長



平成 2年 北海学園大学経済学部経済学科 卒業
平成 2年 岩見沢市奉職
平成 5年 企画財政部企画調整課
平成 8年 総務部情報化推進室
平成 14年 経済部産業情報化推進室室長
平成 23年 企画財政部企業立地情報化推進室長
平成 30年 企画財政部情報政策推進担当次長 総務省地域情報化アドバイザー

パネリスト

長橋 愛氏

BOLDLY 株式会社



平成 15年 ソフトバンク株式会社中途入社モバイル法人営業
平成 21年 総務本部 CSR 推進部環境担当
平成 23年 法人マーケティング推進部法人顧客向け iPhone/iPad/Pepper 等研修講師（通算 750 回以上・研修実施）
平成 29年 BOLDLY 株式会社（旧 SB ドライブ）出向
企画・営業部署にて主に自動運転バス実証実験・展示会等担当
北海道士幌町では平成 29 年より 3 年連続実証実験担当
※実証実験・試乗会は 23 回以上、展示会は 8 回担当
※東京大学柏キャンパスでの ARMA 試乗会の担当（不定期開催）

パネリスト

遠藤 達哉氏

国土交通省 北海道開発局
建設部 道路計画課長



平成 5年 東京工業大学 総合理工学研究科 修了
平成 23年 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部 帯広道路事務所長
平成 26年 北海道開発局 事業振興部 技術管理課 技術管理企画官
平成 28年 北海道開発局 函館開発建設部 次長
平成 29年 北海道開発局 事業振興部 防災課長
平成 30年 北海道開発局 建設部 道路維持課長
令和 2年 北海道開発局 建設部 道路計画課長

パネリスト

福井 邦幸氏

（一社）北海道商工会議所連合会
政策企画部長



平成 9年 室蘭工業大学 大学院工学研究科 博士前期課程 修了
平成 9年 北海道商工会議所連合会 就任
平成 18年 同 政策局（現 政策企画部）
平成 28年 同 政策企画部長

新型コロナウイルス感染症対策として

1. 参加条件

来場前日までに以下に該当する方はご来場をお控えください。

- ① 過去 2 週間以内に発熱や感冒症状（咳、くしゃみ、鼻水、喉の痛み等）で受診や服薬等をした方
- ② 過去 2 週間以内に感染拡大している地域や国への訪問歴がある方
- ③ 過去 2 週間以内に、同居している方や①②の症状がある方

2. 来場当日の検温・体調管理

来場前に体温測定を行い体温の異常等が確認された方、または以下に該当する方はご来場をお控えください。

- ① 息苦しさ、倦怠感、高熱等の症状がある場合
- ② 上記以外で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続いている場合
- ③ 同居している方に①②の症状がある場合

3. マスク着用の義務化

来場時はマスク着用にご協力ください。

4. 会場内での私語等について

会場内では必要のない私語は謹むようご協力ください。また、会場の扉や備品等に濫りに触れないようご注意ください。

5. 北海道コロナ通知システム

当日は「北海道コロナ通知システム」のご案内を掲示いたします。システムへのご登録へ、ご協力ください。

6. イベント等開催時における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する取組について

以下URLよりご確認ください。
<https://www.hoctec.info/measures/>